



【構想の概要】

本構想は、早稲田大学創設者・大隈重信が掲げていた「東西文明の調和」という理念に基づき、今後の国際社会において様々な分野で強いリーダーシップを発揮できる人物を育成するプログラムである。米国東部の3大学および西部2大学の計5大学との協働教育により、本学学部生のみならず米大学の学部生を将来の世界のリーダーへ育成していく。

【プログラムの目的・養成する人材像】

プログラムの目的：アジアの台頭により、世界の経済・政治・文化はますます多極化し、一つの国だけの問題でない地球規模の問題への取組が急務となっている。こうした世界において、アジア地域と西洋諸国双方の歴史、文化、社会を熟知し、その価値観を理解し、互いに尊敬・尊重しあったうえで優れた判断や意思決定を行うことができる人物を育てる。

養成する人材像：『東西文明の調和』の精神を更に深め、多様な価値観を尊重した意思決定を下す**グローバル・リーダー**。



実施した交流プログラム概要／準備状況

第二回合同推進会議の実施

H24年3月に米パートナー校5大学（コロンビア大学、ジョージタウン大学、ペンシルベニア大学、カリフォルニア大学バークレー校、ワシントン大学）より9名の教職員を日本に招致した第一回合同推進会議に続き、H24年6月にパートナー校であるカリフォルニア大学バークレー校に計10名のパートナー大学プログラム担当教職員を招致した。

2日間に渡り、①米学生留学時のカリキュラムモデル、②日米共同ゼミの意義・内容、③フィールド・トリップやインターンシップ、パブリック・プレゼンテーション等の実施方法、④日米双方大学による単位認定方法、⑤米相手校による早大生の受入体制について他、プログラム実施に向け具体的な課題認識の擦り合わせを行った。



受入学部プログラム担当教職員によるパートナー大学訪問

「受入学部についてその特徴をより深く知りたい」という米国大学の要望に応えるべく、受入5学部の本プログラム担当教職員と共に米国パートナー校をH25年1-2月に訪問。職員による学部紹介に加え、教員より米国学生受入時の学部カリキュラム説明を実施し、学生受入れに関するより具体的な情報を米国大学と議論・共有を行った。



カリキュラムの検討

学内各学部と日米共同ゼミの学習内容や教育効果について協議を重ね、ゼミの担当教員および研究テーマを決定した。その他に、米国留学生受入時の各学部における受講可能科目についても決定した。また、プログラムに参加する日米学生が主体となり運営される「グローバル・リーダーシップ・フェローズ・フォーラム」の運営方法や、フィールド・トリップ、ボランティア活動、インターンシップについても具体的運用に向けた検討を開始した。

質の保証を伴った大学間交流の枠組形成

プログラム合同推進委員会、年一回の実施

本学および米パートナー大学の教職員で構成されるプログラム合同推進委員会を引き続き、年に一回実施していく。
・学生の履修に支障がないカリキュラムモデルの策定、単位の相互認定、成績管理、学位授与について、引き続き協議を続行していく。
・アカデミック・カレンダーの違いを活用した本学と相手校間での教員招聘について引き続き検討を行う。本プログラムに参加する日米学生へのチーム・ティーチングの可能性を模索する。

第三者評価委員会発足

本プログラムのパートナー校であるカリフォルニア大学バークレー校教員を含む海外協定校教員、国内教育界・財界の有識者を含む第三者評価委員会が発足。秋に第一回会議の実施を予定している。

教育内容の可視化・成果の普及

教育内容の可視化

・H23年度より新設した全学部生向け全学共通副選考科目『グローバル・リーダーシップ学（GLS）』について、H24年度は、春学期8科目432名、秋学期18科目1,310名の履修者数となり、H24年度は26科目1,742名の総履修者数に達した。内容の更なる拡充を行う。
・一部授業のオンデマンド化を実施。

プログラム・成果の普及

日本語版のみだった当プログラムのウェブサイトリニューアルを実施。トップページからは以下三つの切り口でプログラムに関する情報を得ることができるよう工夫した。

- ①早稲田大学の日本人学生向け画面
 - ②早稲田大学の外国人学生向け画面
 - ③パートナー大学の米国学生向け画面
- このように、プログラム認知拡大のための仕組み作り、および、情報発信を実施した。



学生の派遣・受入を促進するための環境整備

派遣学生へのサポート

選考された10名の一期生に対し、留学前の準備教育として、語学・アカデミックスキル向上を図るための集中コースを春休み期間中に実施した。更に、春学期中にはアメリカのクラス形式で、アジア・西洋の文化や社会の基礎教養知識を学ぶための科目履修に加えて、1泊2日の合宿（6月後半）を実施予定。

受入学生へのサポート

・H26年度から開始する米国学生受入に向け、H24年9月にカリフォルニア大学バークレー校の留学フェアに参加し、本プログラムの広報を実施。早稲田ブースには100名以上の学生が訪れた。
・H26年度から開始する米国学生受入に向け、ウェブサイトの内容を拡充。また、米学生向けに当プログラム広報チラシや動画の作成も開始し、米パートナー校における学生リクルーティングに活用してもらう予定。



交流プログラムにおける学生のモビリティ

日本人学生の派遣

H24年入学者を中心に10-15名のグローバル・リーダー候補の学生を選考、H25年秋学期より毎年米国相手校に派遣する。

外国人留学生の受入

	H23	H24	H25	H26	H27
派遣	—	5*	12	12	12
受入	—	9*	0	12	12

*本プログラム開始に先立ち、既存の交換協定に基づき交流開始と共に参加する。